



北海道方面

札幌を中心に

道路幹支線改築

北海道に於ける道路の開拓は、内地各府縣に比し著しく後くれ、札幌を除きては殆んど見るべきもの無く、殊に幹線と支線との聯絡を缺き、交通上尠からず支障を來して居るので、當局では失業救済のため、百萬圓の公債割當を機として、幹線國道の改良に着手するに至つたが、札幌間の國道に就ては、將來の交通状態を考慮し、五ヶ年

の繼續事業として、現在の國道の一部變更し完成を急ぐ外、國道及地方費道並に準地方費道の連絡を全ふする方針を樹立し、取敢ず札幌間及び狩勝國境を開拓して、東西北海道の連絡を計ると共に、帯廣より阿寒湖を経て釧路に通ずる道路の連絡工事に着手し、今年中に自動車を通せしむる豫定である。

東北方面

飯野川橋と辻堂橋の開通

宮城縣桃生郡なる飯野川橋の開通式は、

五月六日午前十一時より擧げられた。當日は近頃稀な快晴に恵まれ、早朝から郡内は勿論隣接郡町村から押寄せた群集は無慮三萬五千に達し、地方空前の賑ひを呈した。定刻一同の來着を待ち、飯野川町新橋側に設けた祭壇には、紅白の幔幕を廻らして清淨な眞砂を敷き詰め、縣社金華山神社々掌祭詞を奏して昇降神事型の如く、湯澤知事以下玉串奉奠等ありて祭壇を做し、高橋彦藏翁の一家三夫婦芽出なく渡橋の先陣を承り、五千の會衆之れが後陣として午後一時全く式を了へ、次で同町高等女學校樓上で祝賀會を開いた。餘興として協賛會主催の下に紅紺連の手踊、風船流、假裝行列、花馬籠等で全町湧き立ち、また夜間は從灯行列其の他の催物ありて、初夏の軟夜は其の更くるさへ知らず、祝賀氣分に溢れ大賑であつた。

なほ當日午前十時から同郡二俣村二俣運河に内務省が架設した辻堂橋の開通式も盛大に行はれた。

北越方面

昌福橋の開通式

長岡市臺町と四郎丸本町とを繋ぐ昌福橋は、昨五年十月起工以來着々工事を進めて居つたが、此程に至り完成したので、五月十四日同橋連絡道路上で盛大なる開通式を舉行した。午前十一時三發の爆竹を合圖に、平潟神社々司以下神官の修祓により式は開始された。

昇降神の儀等型の如く芽出度く終り、次で四郎丸本町の高齡夫婦、中川徳松(八一)トキ(七四)長岡臺町側の高齡夫婦、石月庄太郎(七八)マセ(六八)を先陣として渡り初めの行列最も美しう折柄の晴天に花と咲き、午後一時半より一般の通行を許すや、雪崩の如く待ち構へたる數萬の見物人は一時に押し寄せ、非常な雑沓を呈したが、特記するほど大きな事故を見なかつた事は幸ひである。

關東方面

群馬縣修路工夫共濟給付

群馬縣修路工夫共濟組員評議員會は、組合長中村孫一氏提案の左記事項を承認決定した。

- 一 桐生土木出張所丸橋庄吉死亡に付遺族に對し疾病給付金參拾圓八拾錢及び脱退給付金拾參圓七拾參錢計金四拾四圓五拾參錢給與
- 一 藤岡土木出張所勤務長谷川作次郎に對し脱退給付金拾貳圓六拾八錢給與
- 一 沼田土木出張所伊藤武助に對し疾病給付金參拾貳圓給與
- 一 太田土木出張所川田彦三郎に對し脱退給付金貳拾壹圓五拾錢給與
- 一 前橋土木出張所萩原茂治に對し家族死亡に因する臨時給付金拾圓給與
- 一 館林土木出張所小貫柳松に對し家族死亡に因する臨時給與の件並に左記五氏の寄附

一 給付金貳拾壹圓五拾錢給與

申込を受理すること

- 一金拾五圓寄附勢多郡東村日笠千吉、
- 一金拾圓寄附同郡同村金子重廣、
- 一金拾圓寄附佐波郡名和村中澤三四郎、
- 一金五圓寄附堀口政吉、
- 一金五圓寄附同郡同村大海長太郎

近畿方面

阿部野堺線道路工事概要

總工費三百萬圓と延二十四萬人を要し、去る四月十八日開通式を擧げた阿部野堺線道路に就ては、前號に其の大略を掲げてあるが茲には其の工事及び各費目等に就て左に要項を報告する。

- 一 位置 大阪市住吉區阿部野筋六丁目より堺市向陽町に至る
- 二 延長 六、四七一・八米 内大和川一終點間一、七五六・〇米は失業救濟事業にして大和川一 起點間四、七一五・八米間は四、七一五・八米は都市計畫事業

三 道路 有効幅員二三米六三 内車道

幅員十六米三六 歩道幅員 各三米六三に
して、舗装は車道に於て起點より三室淺香
山間はシートアスファルトとし、基礎厚十

五糎、表層厚六糎、三室淺香山線以南は砂
利敷厚九糎とし、歩道は起點より高等學校
前間混泥土塊舗装厚六糎、高等學校前より

三室淺香山線間は瀝青乳劑處理厚三糎、三
室淺香山線以南は砂利敷厚六糎で、街路樹
はアカシヤ並プラタナス

四 橋梁 遠里小野橋 (イ)型式 鋼飯

桁橋 徑間二三米七七、八連 (ロ)延長
一九九・四米 (ハ)有効幅員一八・一八米

内車道幅員 一四・五四米 歩道幅員各一・
八二米 (ニ)橋臺及橋脚 鐵筋混泥土構造

左岸橋臺基礎徑四三糎 長六・六七米 混凝
土杭打 其他基礎 末口二四糎長四・五五乃
至八・〇六米 松杭打 (ホ)橋面鋪裝 ア

スファルトプロツク 車道厚五糎 歩道厚
二・五糎 (ヘ)鋼材總重量 一、一五〇噸
以上の外 墨江橋 鋼飯桁橋 徑間八・二

米、架道橋 鐵筋混泥土拱橋 徑間七・〇米

五 事業費總額 二、九九一、四六一圓

イ 都市計畫事業費 二、四二五、三三圓
用地費及補償費 一、四〇四、九六圓
土工費 一三三、四五圓
鋪裝費 三〇三、〇四五圓

橋梁及溝橋費 二五五、四五圓
其他構造物費 一六五、六三圓
事務費 六三、八二圓
失業救濟事業費 五五、二八圓
用地費及補償費 七、五〇圓

土工費 二九、三三圓
鋪裝費 八〇、九三圓
橋梁及溝橋費 二〇、八〇九圓
其他構造物費 三、四六五圓
事務費 三三、〇九圓

勞力費 四〇、〇二圓
都市計畫關係 三九、三三圓
失業救濟關係 一六三、三九圓
使用勞力延人員 二五、四九人

都市計畫關係 一四、八二人

内職業紹介所利用ニヨルモノ 三、一八人

失業救濟關係 九三、三六八人

内職業紹介所利用ニヨルモノ 八二、〇四人

七 工事請負者
シートアスファルト鋪裝工事 大倉土木株式會社
同 日本石油株式會社
遠里小野橋架設工事 大林組

同 松尾鐵骨橋梁株式會社
同 大日本アスファルト工業會社
同 關西ペイント株式會社
墨江橋及架道橋 森組

八 着手 昭和二年十二月二十三日
工事竣工 昭和六年四月十五日
開通 昭和六年四月十八日

中國方面

自動車を初めて迎ふ歡

城崎郡日佐津村民が永年渴望してゐた、

香住町との自動車連絡は、昨春以來工事を進めてゐた同村無南垣佐津驛前を起點とし、同村浦上部落に至る延長一千百九十九間餘の縣道修築工事の竣工により、完全に實現されるに至つたが、之が竣工式は去る

十一月午前十時から同區間の最難所とされてゐた栗山峠下の通り『柴山陸道』東入口で舉行され、無南垣八幡の禰宜が齋主となり、豊岡土木出張所長以下定めぬ席に着き、修工検査の済むや嚴かなる昇降神事を行ひ、永遠に交通路としての効果發揮を祈りて式場を整理し、來賓一同五臺の自動車に分乗して、處女コース踏破のトップを切つて口佐津村に入り、多數歡呼の裡に同村で設けた八木屋の祝賀會場に參集し、開關以來初めて自動車を兩村の地内に通じ入れた歡喜に、酌酒の滿をひいて祝福した。

有馬の杖棄橋竣成

有馬町舟坂七曲りを經て、生瀬に通ずる

縣道六甲川の杖棄橋は、豫てより工事中であつたが、此の程竣工したので去る十七日盛大な渡り初め式を舉行したが、有効幅員は三間、長八間鐵筋コンクリートのモダン橋である。

兵庫縣の失業救済土木

兵庫縣は失業救済土木事業豫算七十五萬圓で、國道二號線中の明石加古川間改修費縣分擔額三十六萬七千圓追加支出の件中、地元負擔十一萬一千百圓を除く、二十五萬五千九百圓及び縣道改修費七十五萬圓中、國庫補助二十萬圓、地元負擔八萬二千百圓を除く四十六萬七千九百圓、この合計七十二萬三千八百圓、竝に昭和六年度の産業道路改修費八十萬圓、計二口の財源を起債に求め、別に但馬震災復舊資金償還年額變更即ち昭和六年度より同九年度迄毎年三萬三千圓償還の豫定を道路事業其他の關係から之を二千圓程度に變更せんとするものであるが、之れは容易ならぬもの、やうである。

嚴島觀光道路愈着手

廣島縣佐伯郡五日市町地御前間の、宮島觀光道路改修工事に伴ふ、失業者救済打合せの爲め、沿道七箇町村長及び縣市兩社會課長、大阪地方職業紹介所長等協議中なりしが、同工事に供給する人夫は沿道六箇町村、及び右工事に通勤し得る範圍の市町村内の失業者を採用するに決し五月十五日を以て各地共失業者登録を開始し、五月二十五日愈工事着手の豫定。

九州方面

門司驛前クロツス道路

門司市と税關及び門鐵局が三すくみの形ちであつた、門司驛と税關道路を十字に切り結ぶクロツスロードは、近く竣工するが、門司驛地下道を越ゆる勾配道路のみは五月六日から歩行を許したので、東西に通行する人車は全部此の道を通り、從來こつた返

してゐた門司驛構内の混雑が緩和されるに至つたが、それと門鐵の手で工を急いでゐる地下道も、八月までには出来上り、此の地方では始めての理想的な上下交叉道路が出現する筈である。

小倉市の道路工事

小倉市内の縣道及び市道の各失業救済道路工事は、目下全力をあげて工事中で、縣道舗装工事は六月中に、市の道路築造工事は今秋までに、何れも竣工の豫定であるが、兩工事への失業者の使用状況及び賃金の支拂額は左の如くて、現在の使用人員は一日縣の舗装工事に二百五十名、市の工事に約百名である。之を縣市分に見ると縣の電車通り舗装工事は二月十八日開始して、二月分使用男九百七十九、女一〇計九百八十九名△三月分使用男九千六百五十、女四百十四、計九千七百六十四名△四月分使用男八千五百四十三、女三百八十六、計八千九百二十九名で、此の總計は男一萬八千

八百七十二人、女八百十人、合計一萬九千六百八十二人で、右に支拂つた賃金は約二百萬圓である。

市の道路工事は昨年二月から本年四月末日迄で男三萬三千四百五十七人女九千六百二十九人合計四萬三千八百六十八にして此の賃金四萬二千七百八十一圓である。

福岡縣の幹線國道改築概要

福岡縣遠賀郡岡垣村海老津——東郷、赤間間改築延長九千九百九十米は路幅八米半とし、工費は四十五萬圓で、之れに使用する人員は十萬五千人であるが、竣工の上は從來難路とばれた城山越も面目を一新すべく、また難路——二月市間延長七千八百二十米は幅員十一米とし、工費五十五萬圓、此の使用人員十萬五千人であるが、本路線中の難工事は一ノ瀬橋梁工事と、水城村地内に於ける久留米行急行電鐵をオーヴァアする跨線工事で他は概ね平地である。來年二月には兩路線とも竣工する豫定で、東郷——

香椎間十哩を除いた門司二日市間六十哩の垣々たる大道が通じ、福岡縣の交通系統は茲に面目を改むるのみならず、人家連擔の箇所は防塵舗装を施す豫定である。

宮崎縣の失業救済道路工事

失業救済事業として宮崎縣で施行の道路工事は總工費二十六萬六百八十五圓で其路線及び材料救済人員等に就て見るに

- 一 東臼杵郡南方小峯道路改良工事
 - 一 神宮擴張道路
 - 一 都城安留道路改良工事
 - 一 米良縣道改良工事
 - 一 東諸縣郡木脇村桑畝道路改良工事
 - 一 岩戶縣道改良工事
 - 一 西小林停車場道
- 以上であつて勞働費は十二萬九千二百十二圓四十錢、所要延人員九萬九千三十六人、國產材料費六萬五千八百五十七圓六十錢である。